

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙「みらい」
NO. 4489
24年10月15日(火)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

期間雇用社員等から正社員(一般職)登用に係る応募者数及び一次合格者数について

おはようございます。
10月に入り、選挙も重なった事もあり、郵便の物増が続いています。
日が暮れるのも早くなり、滞留を発生させない為にも、適正要員配置と業務運行を求めます。

10月2日、日本郵政より期間雇用社員等から正社員(一般職)への登用に係る応募者数及び一次審査合格者数について本部へ情報提供がありました。

正社員登用に係る4社の応募者数は、2021年度10、263人、2022年度8、330人、2023年度6、802人です。今年度は6、082人と年々減少してきています。

今年度は月給制契約社員の社員区分廃止(2025年度末)されることもあり、月給制契約社員

からの応募は、477人(昨年75人)増加しました。

2024年正社員登用試験一次審査合格者数

	応募者数	一次審査合格者		計
		適正試験合格者数	適性試験免除者数	
日本郵政(株)	10	2	3	5
日本郵便(株)	郵便コース	2,533	1,326	3,859
	窓口コース	459	190	649
(株)ゆうちょ銀行	108	32	25	57
(株)かんぽ生命	46	14	14	28
計	5,585	3,040	1,558	4,598

なお、来年度も正社員登用への応募はありますが、2026年4月1日から「応募しなかった者及び登用されなかった者は、時給制契約社員へ社員区分を変更」となります。

一次試験の合格者数は表の通りです。適性試験免除者を除く時給制契約社員の合格率は75.5%(昨年は61.9%)でした。(4,027人中、3,040人合格)



日本郵政グループ各社の2024年度の採用予定数は表の通りです。実際の採用数は上下することがありますが、一次審査合格者の4,598人が受検したとして日本郵政グループ各社がこの予定数を採用するとすれば合格率は70%を超えることとなります。以前に比べれば全体の合格率は上がりましたが、応募者

数が減少したことが要因となっていて、応募者数を増加させるためには、一般職の待遇改善は急務です。



実際、受験する人は20代、30代が多く、40代、50代の時給制契約社員は受験をためらう人が多くいます。理由は一般職になったとしても、地域基幹職になるにはハードルが高く、一般職の基本給は安い上に55歳で定期昇給ストップします。実際、長中局の40代、50代に該当する月給制契約社員も受験していません。



また、最低賃金と郵政最賃が連動していることで、ここ数年は時給が上がっているのも受験をためらう要因の一つになっています。それでも、正社員(一般職)になりたい社員は数多くいます。

2024年度(2025年4月1日採用)採用予定数

	採用予定数	
日本郵政(株)	若干名	
日本郵便(株)	郵便コース	2700人程度
	窓口コース	500人程度
(株)ゆうちょ銀行	50人程度	
(株)かんぽ生命	20人程度	

日本郵政グループ各社には、採用予定数を大幅に上回る採用を求めます。今後のスケジュールは、一次審査可否通知以降、11月下旬頃までに二次審査(面接試験)を終え、最終可否通知を12月中旬頃に行うとなっています。採用予定は、2024年4月1日採用(予定)です。

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。
1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

郵政ユニオン長崎のホームページはこちら



仲間の競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。
期間雇用社員の希望者全員が正社員化を。
ゆえに、均等待遇、なごみの差別。ユニオンは労基法裁判に勝利したぞ!